

ちがさきし ねん めざ
茅ヶ崎市は「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています

さとやま たい
里山はっけん隊！ 「まとめ ノート」



れいわ ねん がつ どうようび じっし
令和5年7月1日(土)実施

だい かい さとやま たい
第3回 里山はっけん隊！ ふりかえり

さんか たいいん みなさま じゅんふ どう けいしょうりやく
参加いただいた隊員の皆様（順不同・敬称略）:

かっぱ、ライガ、かこ、しょうたママ、しょう太、
ねこ、とかげ、かえる、まな、ゆか、のぞむ

目次 – CONTENTS –

まとめ
その1

生きものトーク…………… 1

はっけん隊！当日にみんなが投稿した写真を見ながら、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんと、市役所環境政策課のカヤとみかんが、みなさんの「はっけん！」をトーク形式でふりかえります。

まとめ
その2

生きものコレクション…………… 7

隊員のみんなの投稿を一覧にまとめました。生きもの名前は、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんに確認していただき、一部、変更させていただきました。人物が映り込んでいる投稿等は、削除しています。種名が判別できなかったものは、「種名？」と表示しています。

まとめ
その3

生きものマップ…………… 11

畑の村湿地とその周辺で見つけた主な生きものを、地図にまとめました。田んぼ、草地など、エリアごとにどんな生きものがいたか見てみましょう。

生きものトーク、生きものコレクション、生きものマップの作成に
御協力いただいた 柳谷の自然に学ぶ会の皆様(敬称略)

野田晴美(のださん)、白田仁志(のっぼさん)、飯尾桃子(いいお)
小浜ミサ子(お～さん)、倉川典夫(くらさん)、池田尚子



植物

カ 今回はあいにくの雨模様でしたが、みんな元気いっぱいでしたね。冬の回にも見つけたシロツメクサに花が咲いていましたよ。



シロツメクサ

Trifolium repens
種子植物 > マメ目 > マメ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 別名クローバーですね。江戸時代にオランダからガラス器を送ってきたときに、壊れないようにこの植物を詰めたとされています。

み なるほど、白い詰める草ってわけですね。

カ 田んぼのまわりでは、いろいろな植物が見られました。



キツネノボタン

Ranunculus silirofolius var. *glaber*
種子植物 > キンポウゲ目 > キンポウゲ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 キツネノボタンは日当たりのよい湿った場所を好みます。黄色い花が、前回見つけたタガラシと似ていますが、タガラシは俵型、キツネノボタンは金平糖のようなかたちの実をつけます。



ツククサ

Commelina communis
種子植物 > ツククサ目 > ツククサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ツククサの花は青い花弁2枚と小さな花弁1枚があります。おしべ2本とめしべが1本。目立つ黄色は昆虫を寄せるためです。



ヒメジョオン

Erigeron annuus
種子植物 > キク目 > キク科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

み これはよく見かけますね。ビンボー草。

学 よく似たハルジオンと

もに貧乏草と呼ばれることがありますね。ハルジオンは莖の中が空洞なので花が垂れます。貧乏草と呼ばれるのは、繁殖力が強くて、どんな貧乏な家にも生えるから、などと言われているようです。日本には明治時代に入った帰化植物で、初夏から晩秋まで咲いています。



ユウゲショウ

Oenothera rosea
種子植物 > フトモモ目 > アカバナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 涼し気でかわいい花はユウゲショウです。



ノカンゾウ

Hemerocallis fulva var. *disticha*
種子植物 > キジカクシ目 > ツルボラン科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ノカンゾウも水路の近くで見ましたね。今はつぼみで

すが、花はオレンジ色のユリ科の植物です。



イヌガラシ
Rorippa indica
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 イヌガラシは、スカシタゴボウ、ミチバタガラシと似たアブラナ科の植物です。細長い円柱状のサヤが特徴です。



キツネノマゴ
Justicia procumbens var. *procumbens*
種子植物 > シソ目 > キツネノマゴ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

み またまたキツネですね。
学 キツネのしっぽのようなかわいい花穂がつくんですよ。



フキ
Petasites japonicus
種子植物 > キク目 > キク科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 フキです。花は終わってまますね。花は雄花と雌花に分かれています。



クリ
Castanea crenata
種子植物 > ブナ目 > ブナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

み あぜの近くに立派なクリがありました。

学 クリの雄花は長く房状になり、雌花は緑色で雄花の根本についています。



セリ
Oenanthe javanica
種子植物 > セリ目 > セリ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

力 繊細できれいな花ですね。
学 セリです。春の七草の一つで、香りと歯触りを楽しむ早春を代表する食べ物です。花が咲くと固くて、これはもう食べられませんね。
み それは残念です。
学 それでもキアゲハの幼虫はこれが大好きなんですよ。
力 葉っぱをよく見たら幼虫が見つかるかもしれませんね。



ウシハコベ
Stellaria aquatica
種子植物 > ナデシコ目 > ナデシコ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ハコベの仲間のウシハコベです。めしべが五つに分かれているのが特徴です。

み 小さいけれど、よく見ると星みたいですね。



エノキ
Celtis sinensis
種子植物 > バラ目 > アサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 エノキです。葉っぱの上部にギザギザがあります。



ヤマグワ
Morus australis
種子植物 > バラ目 > クワ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ヤマグワです。これも葉っぱにギザギザがありますが、

様々な形になることがあります。

み 湿地にある木ですね。もうすっかりおなじみです。



ギシギシ

Rumex japonicus

種子植物 > ナデシコ目 > タデ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 これはギシギシ。アブラムシがついてるのでしょうか。ギシギシとスイバとの違いは、葉っぱの根元が丸いのがギシギシ、矢じり型の葉がスイバです。



オオバコ

Plantago asiatica

種子植物 > シソ目 > オオバコ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 オオバコは葉が広くて大きいことからこの名がついたようです。日当たりのよい道端、踏み固められた道路でもよく見られます。

み 踏まれても強くて、花言葉は「足跡を残す」ですよ。リーダーのお話にもありました。



カナムグラ

Humulus scandens

種子植物 > バラ目 > アサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

み あ、カナムグラ！ 春の保全作業で除去したのに、またありましたね。

学 カナムグラには下向きのトゲがあって、触るとチクチクします。キタテハの幼虫は、カナムグラの葉を折りたたんで中で大きくなるんですよ。冬になって枯れるとその中で越冬します。

み ということは、キタテハ的には、取り残しがあってよかったということですね。



ミズキ

Cornus controversa

種子植物 > ミズキ目 > ミズキ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ミズキの果実が付いています。黒く熟すのは 10 月頃。葉っぱにはエサキモンキツノカメムシが産卵します。幹に聴診器を当てると水を吸い上げる音が聞けますよ。

み さすがミズキ。



ムクノキ

Aphananthe aspera

種子植物 > バラ目 > アサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ムクノキです。秋に実が熟しておいしいですよ。葉っぱはふちにギザギザがあり葉脈ははっきりしています。葉の表面がザラザラしていて、弥生土器はこれで磨いたといわれていますよ。

み みんなで触りましたよね。見た目はツルツルだけど、触ってみると確かにザラザラでびっくりしました。

昆虫・クモ

カ 雨だったので、虫たちは見つからないかと思いきや、さすがはっけん隊員！ 皆さん目ざとく見つけていました。



ショウリョウバッタ

Acrida cinerea

昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ショウリョウバッタですね。ショウリョウバッタモドキと思った人もいますが、ショウリョウバッタモド

キには、頭から翅(はね)の尾端まで淡褐色の線があります。



トノサマバッタ

Locusta migratoria

昆虫・クモ>バッタ目>バッタ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 トノサマバッタです。バッタの中でもジャンプ力に優れています。



ヒメギス

Eobiana engelhardti subsp. subtropica

昆虫・クモ>バッタ目>キリギリス科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 ヒメギスです。写真を拡大すると分かりますが、胸に白い線が入っているのが特徴です。



オオカマキリ

Tenodera sinensis

昆虫・クモ>カマキリ目>カマキリ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

み 小さいカマキリがいた！

学 小さいのでヒメカマキリと思ったようですが、顔が違います。これはオオカマキリ。ヒメカマキリは神奈川県では3例しか記録がありません。

み 顔…、比べてみたいです。



エンマコオロギ

Teleogryllus emma

昆虫・クモ>バッタ目>コオロギ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 エンマコオロギの幼虫です。体に白い線が入っていますね。まだ翅(はね)がないので鳴きません。



マメコガネ

Popillia japonica

昆虫・クモ>コウチュウ目>コガネムシ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

カ マメコガネの英名は「Japanese beetle」。日本在来ですが海外に侵入し、ダイズやトウモロコシの害虫として、やっかい者になっているそうですよ。

み カヤさんよく知っていますね。

カ バイオームの「いきものブログ」に書いてありました。



ヤハズハエトリ

Mendoza elongata

昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 クモの仲間も見つかりましたね。これはヤハズハエトリです。

み 縦じま模様が粹ですね。



キアゲハ

Papilio machaon

昆虫・クモ>チョウ目>アゲハチョウ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

カ キアゲハの幼虫もカラフルでおしゃれです。



オニヤンマ

Anotogaster sieboldii

昆虫・クモ>トンボ目>オニヤンマ科

Powered by  いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 オニヤンマの抜け殻ですね。背中部分に羽化したときに成虫が出てきた跡が見られます。

両生類

み 田んぼの中で、オタマジャクシが泳いでいました。
カ 小さいカエルもあちこちで、びよんびよん跳ねていましたね。



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類 > 無尾目 > アマガエル科

学 ニホンアマガエルですね。このカエルは南方系なので、温かくなってから産卵します。指の先に吸盤があるので高いところで生活します。オタマジャクシが水生のえら呼吸から陸生の肺呼吸に変態するとき、まず足が出て、次に手がポンと出て、最後に尻尾が吸収されます。



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類 > 無尾目 > アマガエル科

み これは尻尾が吸収されている途中でしょうか。微妙に尻尾があるようなないような。



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類 > 無尾目 > アマガエル科

学 多くの両生類の皮膚には毒があります。手で触るのは大丈夫ですが、その手で目をこすると激痛が走ると言われています。

水生生物



カワナナ
Semisulcospira libertina
 軟体動物 > 吸殻目 > カワナナ科

カ ゲンジボタルの幼虫が餌にするというカワナナですね。



ヌマエビ
Paratya compressa
 甲殻類 > 十脚目 > ヌマエビ科



モクスガニ
Eriocheir japonica
 甲殻類 > 十脚目 > モクスガニ科

み ヌマエビ、モクスガニ。やはりエビカニは人気ですね。



アメリカザリガニ
Procambarus clarkii
 甲殻類 > 十脚目 > アメリカザリガニ科

学 アメリカザリガニは2023年6月1日より「条件付特定外来生物」に指定されました。捕獲、飼育、無償譲渡は可能ですが、放出、販売・頒布・購入は禁止なので、捕獲したら駆除しています。



セスジビル
Whitmania edentula
 その他動物 > 顎ヒル目 > ヒルド科

カ 田んぼの中で見つかったにゆるりとした生きものは、セスジビルでした。

み ヒルって血を吸うやつですよね。

カ セスジビルは血は吸わないそうですよ。ペットとして飼育する人もいますって。

み それはさすがにビックリ。

鳥類

み 雨に濡れる田んぼにアオサギが佇んでいました。



アオサギ

Ardea cinerea subsp. jouyi
鳥類 > ペリカン目 > サギ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 アオサギは、魚、ザリガニ、カエル、エビなどを食べます。じっと見つめて、くちばしで素早く獲物を捕らえます。アオサギが来るということは生きもの豊かな水田です。

み なんだか嬉しいですね。



ツバメ

Hirundo rustica
鳥類 > スズメ目 > ツバメ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み ツバメはたくさん見かけましたが、速すぎてなかなかカメラに収まりませんでした。

学 ツバメは飛んでいるハエやカなど食べています。虫が飛んでいる高さに合わせてツバメも低く飛んだり高く飛んだりします。

み ツバメが飛んでいるということは、虫も飛んでいるということなんですね。

その他

カ 雨模様にお似合いのカタツムリにも出会えました。



ミスジマイマイ

Euhadra peliomphala
軟体動物 > マイマイ目 > ナンバンマイマイ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 渦巻に筋が入るミスジマイマイですね。カタツムリの渦巻は右回りと左回りとありますが、これは右回りです。



コハクオナジマイマイ

Bradybaena pellucida
軟体動物 > マイマイ目 > ナンバンマイマイ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 コハクオナジマイマイです。

み 透き通っていてきれいなカタツムリですね。



ナメクジ

Meghimatium bilineatum
軟体動物 > マイマイ目 > ナメクジ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み ナメクジは殻がないカタツムリってことなんですか？

学 そうですね。ナメクジとカタツムリは、殻のあるなしのほか、大きな違いはありません。祖先は同じで、進化の過程で殻がなくなったのがナメクジのようですよ。

み 嫌われがちですが、よく見るとかわいいですね。

まとめ
その2

生きものコレクション

夏の里山で、
発見したぞよ！



植物



シロツメクサ
Trifolium repens
種子植物 > マメ目 > マメ科



キツネノボタン
Ranunculus silerifolius var. *glaber*
種子植物 > キンボウグ目 > キンボウグ科



キツネノボタン
Ranunculus silerifolius var. *glaber*
種子植物 > キンボウグ目 > キンボウグ科



キツネノボタン
Ranunculus silerifolius var. *glaber*
種子植物 > キンボウグ目 > キンボウグ科



ツククサ
Commelina communis
種子植物 > ツククサ目 > ツククサ科



ツククサ
Commelina communis
種子植物 > ツククサ目 > ツククサ科



ツククサ
Commelina communis
種子植物 > ツククサ目 > ツククサ科



ヒメジョオン
Erigeron annuus
種子植物 > キク目 > キク科



ヒメジョオン
Erigeron annuus
種子植物 > キク目 > キク科



ヒメジョオン
Erigeron annuus
種子植物 > キク目 > キク科



ユウゲシヨウ
Oenothera rosea
種子植物 >フトモモ目 >アカバナ科



ノカンゾウ
Hemerocallis fulva var. *disticha*
種子植物 > キシキクシ目 > ツルボラン科



イヌガラシ
Rorippa indica
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科



キツネノマゴ
Justicia procumbens var. *procumbens*
種子植物 > シン目 > キツネノマゴ科



フキ
Petasites japonicus
種子植物 > キク目 > キク科



クリ
Castanea crenata
種子植物 > ブナ目 > ブナ科



クリ
Castanea crenata
種子植物 > ブナ目 > ブナ科



セリ
Oenanthe javanica
種子植物 > セリ目 > セリ科



セリ
Oenanthe javanica
種子植物 > セリ目 > セリ科



セリ
Oenanthe javanica
種子植物 > セリ目 > セリ科



ウシハコベ
Stellaria aquatica
種子植物 > ナデシコ目 > ナデシコ科



エノキ
Celtis sinensis
種子植物 > バラ目 > アサ科



ヤマグワ
Morus australis
種子植物 > バラ目 > クワ科



ギシギシ
Rumex japonicus
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科



ギシギシ
Rumex japonicus
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科



ギシギシ
Rumex japonicus
種子植物 > ナデシコ目 > タデ科



オオバコ
Plantago asiatica
種子植物 > シソ目 > オオバコ科



オオバコ
Plantago asiatica
種子植物 > シソ目 > オオバコ科



オオバコ
Plantago asiatica
種子植物 > シソ目 > オオバコ科



カナムグラ
Humulus scandens
種子植物 > バラ目 > アサ科



ミズキ
Cornus controversa
種子植物 > ミズキ目 > ミズキ科



ミズキ
Cornus controversa
種子植物 > ミズキ目 > ミズキ科



ミズキ
Cornus controversa
種子植物 > ミズキ目 > ミズキ科



ムクノキ
Aphananthe aspera
種子植物 > バラ目 > アサ科



ムクノキ
Aphananthe aspera
種子植物 > バラ目 > アサ科



ムクノキ
Aphananthe aspera
種子植物 > バラ目 > アサ科



種名?
学名?
分類?



種名?
学名?
分類?



種名?
学名?
分類?

昆虫・クモ



ショウリョウバッタ
Acrida cinerea
昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科



ショウリョウバッタ
Acrida cinerea
昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科



トノサマバッタ
Locusta migratoria
昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科



ヒメギス
Eobiana engelhardti subsp. subtropica
昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科



ヒメギス
Eobiana engelhardti subsp. subtropica
昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科



オオカマキリ
Fenodera sinensis
昆虫・クモ > カマキリ目 > カマキリ科



エンマコオロギ
Teleogryllus emma
昆虫・クモ > バッタ目 > コオロギ科



マメコガネ
Popillia japonica
昆虫・クモ > コウチュウ目 > コガネムシ科



マメコガネ
Popillia japonica
昆虫・クモ > コウチュウ目 > コガネムシ科

 <p>ヤバズハエトリ <i>Mendoza elongata</i> 昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科</p>	 <p>ヤバズハエトリ <i>Mendoza elongata</i> 昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科</p>	 <p>ヤバズハエトリ <i>Mendoza elongata</i> 昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科</p>	 <p>キアゲハ <i>Papilio machaon</i> 昆虫・クモ>チョウ目>アゲハチョウ科</p>	 <p>キアゲハ <i>Papilio machaon</i> 昆虫・クモ>チョウ目>アゲハチョウ科</p>	
 <p>オニヤンマ <i>Anotogaster sieboldii</i> 昆虫・クモ>トンボ目>オニヤンマ科</p>	 <p>オニヤンマ <i>Anotogaster sieboldii</i> 昆虫・クモ>トンボ目>オニヤンマ科</p>	 <p>オニヤンマ <i>Anotogaster sieboldii</i> 昆虫・クモ>トンボ目>オニヤンマ科</p>	 <p>種名？ 学名？ 分類？</p>	 <p>種名？ 学名？ 分類？</p>	
<h1>両生類</h1>		 <p>ニホンアマガエル <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類>無尾目>アマガエル科</p>	 <p>ニホンアマガエル <i>Dryophytes japonicus</i> 両生類>無尾目>アマガエル科</p>	<h1>水生生物</h1>	
 <p>カワナ <i>Semisulcospira libertina</i> 軟体動物>吸殻目>カワナ科</p>	 <p>カワナ <i>Semisulcospira libertina</i> 軟体動物>吸殻目>カワナ科</p>	 <p>ヌマエビ <i>Paratya compressa</i> 甲殻類>十脚目>ヌマエビ科</p>	 <p>ヌマエビ <i>Paratya compressa</i> 甲殻類>十脚目>ヌマエビ科</p>	 <p>モクズガニ <i>Eriocheir japonica</i> 甲殻類>十脚目>モクズガニ科</p>	
 <p>モクズガニ <i>Eriocheir japonica</i> 甲殻類>十脚目>モクズガニ科</p>	 <p>アメリカザリガニ <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類>十脚目>アメリカザリガニ科</p>	 <p>アメリカザリガニ <i>Procambarus clarkii</i> 甲殻類>十脚目>アメリカザリガニ科</p>	 <p>セスジビル <i>Whitmania edentula</i> その他動物>環ヒル目>ヒルド科</p>	 <p>セスジビル <i>Whitmania edentula</i> その他動物>環ヒル目>ヒルド科</p>	

	<h1>鳥類</h1>			
<p>セスジビル <i>Whitmania edentula</i> その他動物 > 蛞蝓目 > ヒルド科</p>		<p>アオサギ <i>Ardea cinerea subsp. jouyi</i> 鳥類 > ペリカン目 > サギ科</p>	<p>アオサギ <i>Ardea cinerea subsp. jouyi</i> 鳥類 > ペリカン目 > サギ科</p>	<p>ツバメ <i>Hirundo rustica</i> 鳥類 > スズメ目 > ツバメ科</p>
	<h1>その他</h1>			
<p>ツバメ <i>Hirundo rustica</i> 鳥類 > スズメ目 > ツバメ科</p>		<p>ミスジマイマイ <i>Euhadra peliomphala</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナンバンマイマイ科</p>	<p>コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナンバンマイマイ科</p>	<p>コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナンバンマイマイ科</p>
				
<p>ナメクジ <i>Meghimatium bilineatum</i> 軟体動物 > マイマイ目 > ナメクジ科</p>				

まとめ
その3

生きものマップ

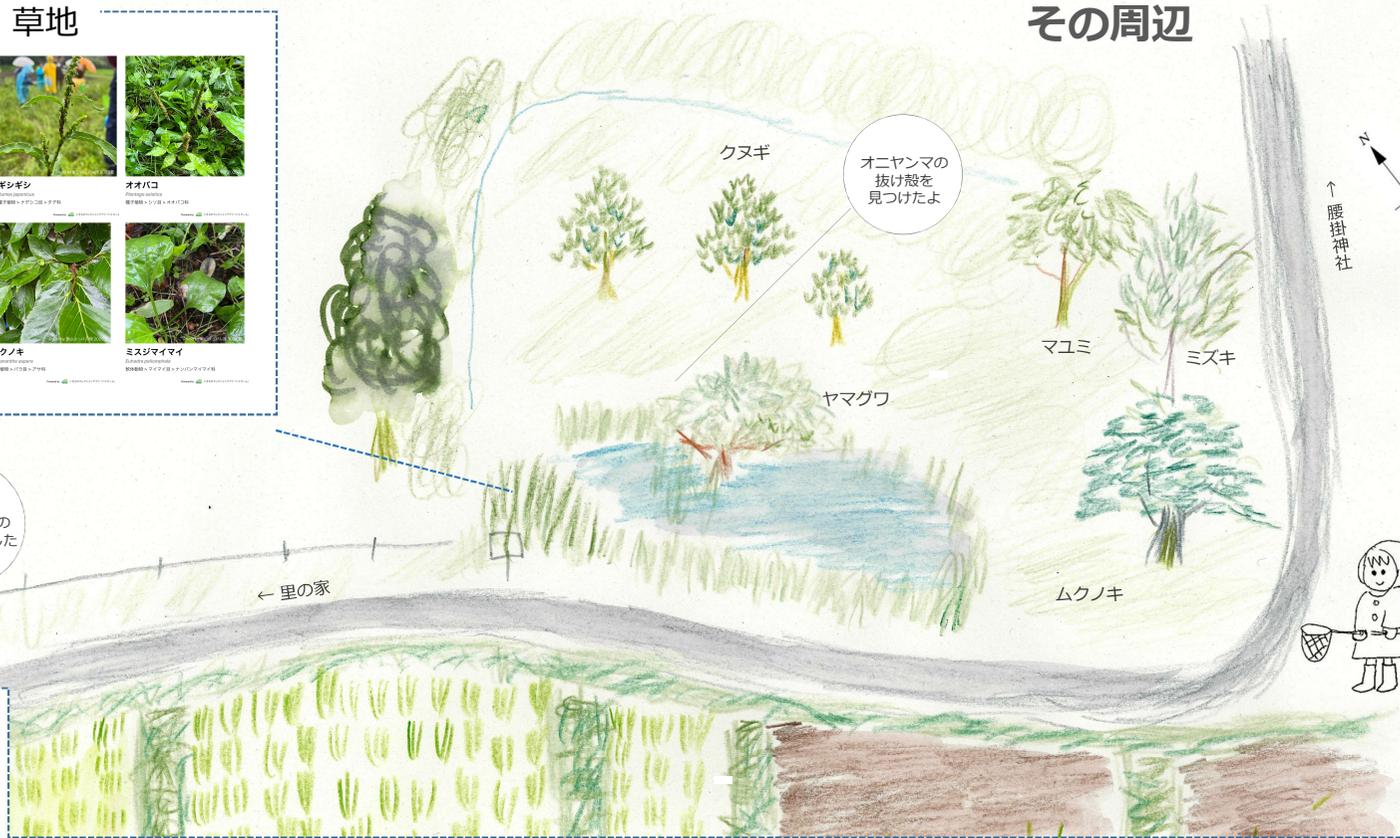
里山はっけん隊！の主な活動場所である「畑の村湿地」とその周辺で見つけた主な生きものです。（令和5年7月1日）

畑の村湿地と その周辺

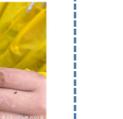
湿地・草地

 ヤマグチ Yamaguchi plant	 オニヤンマ Onyanma	 キシギシ Kishigishi	 オオバコ Oobako
 カナムグラ Kanadogura	 ミズキ Misaki	 ムクノキ Mukunoki	 ミスジマイマイ Misujimai

田んぼの
益虫・害虫の
話を聞きました



園路沿い・田んぼ

 シロツクサ Shirotsukusa	 キツネノボタン Kitsunebotan	 ツクサ Tsukusa											
 ヒメジョオン Himejyomon	 ユウシュウ Yugushiyau	 ノカンゾウ Nokanzou	 イヌガラシ Inagashi	 キツネノモモ Kitsunomomo	 フキ Fuki	 クリ Kuri	 セリ Seri	 ウシボクベ Ushibokube	 エノキ Enoki	 シオウリウバツタ Shiowariwubatta	 トノサバツタ Tonosabatta	 ヒメギサ Himegisa	 オオカミリ Okakamiri
 エンマチロギ Emamachirogi	 マキコガネ Machikane	 ヤスハラエトリ Yasuhare	 キアハ Kikaha	 ニホンアマゲル Nihonamagel	 カワニナ Kawanina	 ヌメビ Numebi	 モクスガニ Mokugani	 アメリカザリガニ Amrikazari	 セスジビル Sesjibir	 コハクナジマイ Kohakunajimai	 ナメクジ Nemekji	 アオサギ Aosagi	 ツバメ Tobama

里山はっけん隊！「まとめノート」令和5年度 夏
編集：茅ヶ崎市環境部環境政策課
協力：柳谷の自然に学ぶ会
令和5年10月作成